

「航海日誌」

ヨット(ミルキーウェイV) 令和2年夏・日本(本州)一周

日付	曜日	停泊港	記録	補給修理
令和2年		ナイト=夜間航海	事前準備 レース用装備の取外し、ドジャー(風防)ビミニトップ(日除け屋根) 取付け、食料積み込み、装備点検	
1	6月29日	月 北海道 小樽	仲間に送られる 6:00出航、積丹半島 神威岬通過	燃料水満タン
2	6月30日	火 ナイト	荒天	
3	7月1日	水 青森県 深浦	度々寄港している良港、太宰治記念館あり	給水
4	7月2日	木 青森県 深浦	休養、五能線が通る 良質温泉あり	
5	7月3日	金 ナイト	荒天	
6	7月4日	土 男鹿半島 戸賀	男鹿半島の天然の良港(火山の爆裂口) 漁業基地	給水
7	7月5日	日 ナイト	荒天	
8	7月6日	月 佐渡島 小木	毎回寄港の良港、北前船記念館 たらい船	
9	7月7日	火 佐渡島 小木	休養	給水
10	7月8日	水 ナイト	順航	
11	7月9日	木 金沢	金沢市大野町からくり記念館脇に着岸、毎回利用させて頂いている、金石温泉	
12	7月10日	金 金沢	休養、大野町は昔からの北前船寄港地 古い町並みで醸造所多し、フグ肝の麴漬けが名物	給油
13	7月11日	土 金沢	荒天待機	
14	7月12日	日 金沢	荒天待機	エンジンオイル交換
15	7月13日	月 金沢	荒天待機	給水
16	7月14日	火 金沢	17:30出航	
17	7月15日	水 ナイト	いきなりの強風荒天、真上りでピッチング激しく全員グロッキー、艇内荷物散乱するも片付ける気力無し	
18	7月16日	木 丹後半島 中浜	港が満杯なるも、親切な漁師さんが自分の停泊場所を提供してくれた、困っている者に優しい	給水
19	7月17日	金 ナイト	久しぶりの晴天、天の川(ミルキーウェイ)や白鳥座が素晴らしい、ナイトセーリングの醍醐味	
20	7月18日	土 島根県温泉津(ユツ)	石見銀山の積出し港、古くからの湯治場 薬師湯がぜひお勧め(温泉協会最高評価らしい)	給水
21	7月19日	日 ナイト	トローリングにブリ シイラ掛かる、豪快に刺身&バター焼食いきれず、シイラとの乱闘に疲れる	

22	7月20日	月	下関漁港	下関駅裏徒歩3分、漁港とは名ばかり歓楽街のど真ん中、ネオン眩しく寝付かれず	
23	7月21日	火	国東半島武蔵マリーナ	潮流に乗り凄いスピードで関門海峡通過、本船航行多し、豊後水道を南下、大分空港滑走路脇のマリーナに入港	給油 給水
24	7月22日	水	室戸岬 室津	関アジ多数釣果旨し、もう食い切れない、好天、室津は天然の良港 夕日が秀逸、海釣りのメッカ	
25	7月23日	木	ナイト	エンジン緊急停止、原因究明に焦る、冷却ポンプ内部品の不良が判明し交換（揺れる船上での作業は困難極める）	エンジン分解 修理
26	7月24日	金	那智勝浦	岩窟温泉亡帰洞で有名な浦島ホテル前に着岸、栄養補給に努める	給水
27	7月25日	土	那智勝浦	休養、温泉三昧、海鮮料理	オイル交換
28	7月26日	日	大王岬 波切	伊良湖水道から北上するも風雨激しく、緊急入港、多くの画家が描いた波切漁村の風景	
29	7月27日	月	三河湾 蒲郡	豪雨の影響か濁った海水、ラグーナ蒲郡マリーナ着岸、現地仲間のアドバイスで格安停泊料の隣地三谷マリーナに移動	給油 給水
30	7月28日	火	三河湾 三谷マリーナ	現地のヨットマンと交流 宴会 三谷温泉三昧、トヨタの地元か自動車運搬船	
31	7月29日	水	ナイト	遠州灘は荒れる、流入する大きい河川の影響か、苦勞多し、動揺の為艇内散乱	
32	7月30日	木	伊豆半島 下田	ようやく関東に帰る、下田港は何度も寄港しているペリー上陸地点脇停泊、栈橋で滑り足を負傷	給水
33	7月31日	金	三浦半島 三崎	旧知の諸磯ハーバーのヨットマンと交歓 先方別荘で無礼講の宴会	
34	8月1日	土	安房鴨川マリーナ	城ヶ島大橋をくぐり東航しかし鴨川マリーナは割高な停泊料九千円！港中がゲルで高いマリーナに誘導される	給水
35	8月2日	日	ナイト	銚子 九十九里 大規模な洋上風力発電設備を通過	
36	8月3日	月	いわき市 小名浜	美空ひばりの塩屋崎通過マチ多数釣れる刺身三昧、捌くのが大変でもう釣れてくれるな。艇が生臭い！	オイル交換
37	8月4日	火	亘理町 荒浜	阿武隈河口 鳥の海（丸い湾に小島が有り、鳥の目のような変わった地形）脇	給水
38	8月5日	水	ナイト	満天の星空 北斗七星の巨大さに改めて感激、金星がしつこく輝く、夜間操業の漁船団に囲まれ緊張して操舵	
39	8月6日	木	宮古 鮎川	東北震災津波復興中、巨大な防護壁が立上がりちょっと息苦しい、遠洋捕鯨記念館 鯨骨のペンダント購入	給油 給水
40	8月7日	金	ナイト	浄土ヶ浜通過、雲海から星座が現れ感激、空一面の星だらけ、夜光虫も鮮やかで航跡を長く引く	
41	8月8日	土	下北半島 下風呂	ひなびた下風呂温泉郷、硫黄泉で一見の価値あり、夜間強風でメインセール裂ける、走りながら緊急修理	給水

42	8月9日	日	函館	強風追手で函館入港、毎回馴染みの金森倉庫前着岸 観光客多し、停泊料金90円！谷地頭温泉後ジンギスカン鍋	セール交換
43	8月10日	月	松前半島 福島	青函海峡で1m大のマグロが掛かるも強烈な引きで仕掛けを全部持って行かれる、やはり大間のマグロは甘く無い	
44	8月11日	火	松前半島 福島	現地メンバーと交歓、千代の富士記念館 青函トンネル記念館見学後 宴会、強風待機	給水
45	8月12日	水	松前半島 福島	5:00出航 絶海の孤島松前小島（北朝鮮の漁民が狼藉を働いた）接岸 その後	
46	8月13日	木	奥尻島 神威脇	早朝 奥尻島西岸の神威脇温泉に着岸、野趣溢れる温泉を楽しむ 午後出航しナイト、強風	給水
47	8月14日	金	北海道 小樽	4:00カムイ岬通過 13:08小樽マリーナ帰着 夕刻メンバー全員で帰港祝	
48	8月15日	土	小樽	艇の完全清掃、次のレース（北海道外洋選手権）出場に備え備品整備、不要装備の搬出	破損部品補修
49	8月16日	日	東京へ帰還		